

## 倉敷芸術科学大学アセスメントプラン（学修成果の評価の方針）

### 1. 目的

倉敷芸術科学大学では、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの3つのポリシーに則した評価指標に基づいて教育の成果を可視化し、機関レベル・教育課程レベル・授業科目レベルの3段階で、学修成果を検証します。

#### 1) 機関レベル（大学全体）

学生の進路状況（就職率、就職満足度、資格・免許を活かした専門領域への就業状況、退学率等）や客観テストの結果などから、学修成果の達成状況を評価します。検証結果は、本学の現状把握、全学的な教育改革・改善、学生・学修支援の改善等に活用します。

#### 2) 教育課程レベル（学科等）

学科等の教育課程所定の卒業要件達成状況（単位取得状況、GPA等）や、資格・免許の取得状況、学修の達成度に対する学生の自己評価などから、教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を評価します。検証結果は、教育課程レベルの教育の改善に活用します。

#### 3) 授業科目レベル

シラバス記載の到達目標に即した成績評価や学生の自己評価の結果などから、科目ごとの学修成果の達成状況を評価します。検証結果は、個々の教員による授業改善に活用します。

### 2. 評価方法

多様な評価方法を用いて、学生の学修成果を多面的に評価します。代表的な評価方法は以下のとおりです。

#### 1) 学修成果に関わる基本的な統計情報

各科目における成績分布や各学科等・全学における単位取得状況、GPAといった卒業要件達成状況に関わる情報、及び就職率資格・免許の取得状況や専門領域への就業状況、退学率といった学生の進路に関わる情報など。

#### 2) 標準化された外部の客観テスト

大学における学修や、社会において必要とされる問題解決能力をはじめとする汎用的能力を可視化するアセスメントや、自分の強みや改善点を客観的に知って自己分析に役立てるアセスメントなど。

#### 3) アンケートによる学生の自己評価

ディプロマ・ポリシーに掲げる能力・資質の達成度等について学生の自己評価を調査するための、学修や満足度に関わる定期的アンケートや、入学時・卒業時に実施するアンケートなど。